



栽培管理を行う上田代表取締役

経営概要

◆代表者、所在地

代表取締役 上田智之、 奈良県田原本町

◆設立年

令和5年11月

◆経営規模

イチゴ（高設ハウス：5棟0.57ha、育苗ハウス2棟0.12ha）

◆従業員数

正社員1名、パート・アルバイト8名

◆事業内容

「みんなで一つのいいものを作ろう」をモットーに、奈良県におけるイチゴのブランド品種である「古都華（ことか）」の生産・販売に取り組む。

1

現状及び相談内容

平成30年9月の経営開始以降、順調に規模を拡大してきた。対外信用力の向上及び優良人材の確保の為、顧問の税理士と経営の法人化について協議し、株式会社の設立を決断した。法人設立に向けた手続について事前に確認したいと考え、日常的に付き合いのある奈良県農業経営・就農支援センターのサテライト窓口である普及指導センターを訪問した。

2

支援内容

経営戦略会議を実施し、株式会社の設立を支援するために司法書士、普及指導員及び農業経営・就農支援センター専属スタッフからなる支援チームの編成・派遣を決定した。

令和5年7月に支援チームを派遣し、定款作成や法人登記等の株式会社設立のための具体的な手続きについて助言を行った。

3

人材の確保・育成に資する取組

★新たに独立自営就農を志す者を対象とした県の研修制度により、研修生を受入れるとともに、県内農業大学校や農業高校への積極的なリクルート活動を展開

■研修生の受け入れ

独立自営就農を志す研修生の実務研修を受入れ、独り立ちできるように指導を実施している。

指導した研修生が認定新規就農者として独立自営就農の見込みであり、農業の担い手確保に大きく貢献している。

■県内農業大学等へのリクルート活動

県内の農業大学や農業高校に対して積極的にリクルート活動を行う中で、令和6年4月から農業高校生1名を採用予定であり農業を志す若者の受け皿となっている。

採用側にとっても農業に対する理解度が高い若者を雇用できるよい機会となっている。



研修生に対して研修を行う様子（写真右側が上田代表取締役）

今後の意気込み

普及指導センターには法人化について以前から相談していましたが、今回実際に法人化するに当たって専門家派遣等の支援を受けることができ、助かりました。

法人化後も変わらずに、奈良県産のイチゴの「美味しさ」・「魅力」を、日本中そして世界中に発信していけるように頑張りたいです。

専属スタッフ所感

相談者は過去に奈良県農業経営・就農支援センターの前身機関である奈良県農業経営者サポート協議会において支援実績（労務管理に関する助言[令和元年度]、6次産業化に関する助言[令和3年度]）があったことから、既に経営状況等が把握できており速やかな支援が実現できました。

今年度も10aの規模拡大をされるなど非常に意欲的に農業経営に取り組まれており、今後ますますの発展が期待されます。